

令和2年度 美術科研究テーマ

美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成 ～造形的な見方・考え方が働く授業の実践～



誰だろう？

光の先には何が？

どこから続いているのかな？

光が反射してるな
雨？

これは何？
食べカスみたいな形だな

答えは生徒がつくるもの

美術では決められた答えはない。だからこそ自分たちで試行錯誤して決める。そんな生徒が未来もつくる。感じる・考える・創る活動(表現と鑑賞)を相互に関連させ、友達との言語活動を通して見方・考え方を広げ深めながら、自分としての意味や価値をつくりだしていく経験を積み重ねます。

『？』が成長のカギ

教師はファシリテーターとして支援に終始し、なぜ？これ何？どうやって？といった疑問・興味・好奇心などからもたらされるこれらの「？」を大切にして、学びを深める導きをします。

学習のポイントを明確化

思考のポイント、技能のポイント、取り組む姿勢のポイントと分類し、明確に提示することで短期集中して学びに向かう姿を目指します。

足跡が向こうを向いている
きっと光の先に向かって旅をしているんだ